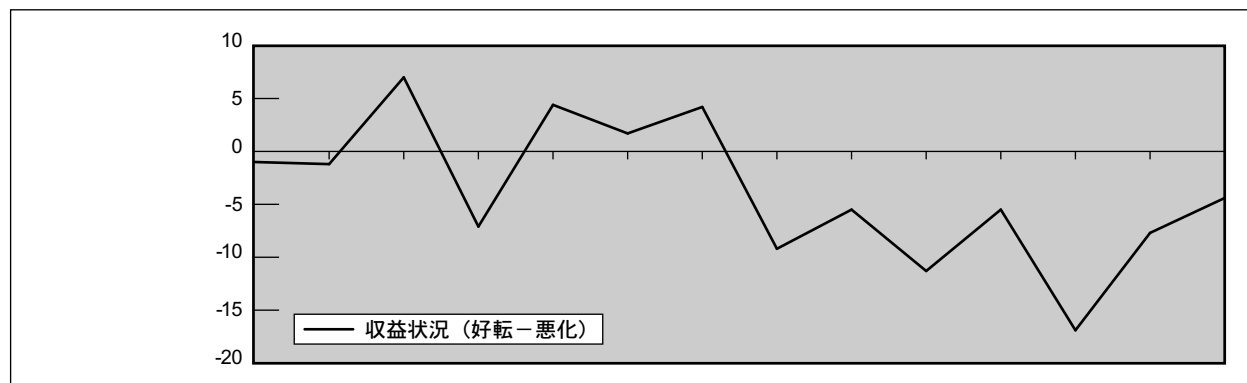


IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
好 転	19.7	21.0	23.5	18.6	23.8	18.4	23.2	19.2	16.6	12.4	18.5	16.1	15.0	13.2
横 ば い	59.6	56.8	60.0	55.6	56.9	64.9	57.7	52.5	61.3	63.9	57.5	50.8	62.3	69.3
悪 化	20.7	22.2	16.5	25.7	19.1	16.7	19.1	28.4	22.1	23.7	24.1	33.1	22.7	17.5
D . I .	-1.0	-1.2	7.0	-7.1	4.4	1.7	4.2	-9.2	-5.5	-11.3	-5.6	-16.9	-7.7	-4.4



好転理由

(%) 見込 予測

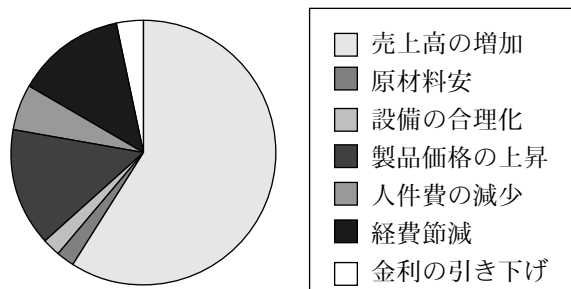
期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の増加	69.7	65.5	69.1	56.3	64.6	61.9	61.5	69.4	61.4	66.2	64.4	58.9	67.9	62.0
原材料安	5.1	2.6	2.7	7.1	2.4	6.2	4.9	3.1	1.1	1.5	2.3	2.2	1.2	2.5
設備の合理化	0.0	2.6	1.8	2.7	2.4	4.1	2.5	4.1	4.5	3.1	2.3	2.2	2.4	3.8
製品価格の上昇	8.1	7.8	4.5	12.5	9.4	9.3	10.7	6.1	6.8	7.7	6.9	14.4	14.3	10.1
人件費の減少	2.0	6.9	5.5	1.8	2.4	6.2	5.7	6.1	3.4	3.1	6.9	5.6	3.6	7.6
経費節減	15.2	14.7	16.4	16.1	17.3	12.4	14.8	11.2	21.6	16.9	16.1	13.3	8.3	11.4
金利の引き下げ	0.0	0.0	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	1.1	3.3	2.4	2.5

悪化理由

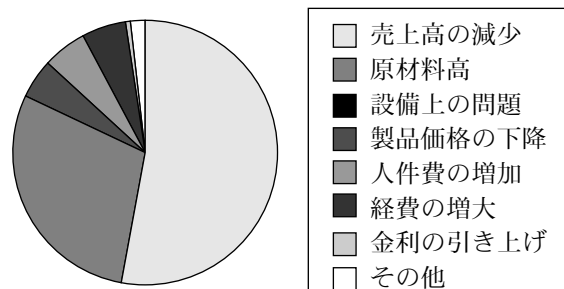
(%) 見込 予測

期別 種別	17 年			18 年				19 年				20 年		
	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
売上高の減少	49.6	48.4	41.8	57.5	38.9	35.4	40.7	55.7	47.2	17.6	48.0	53.0	44.3	42.1
原材料高	19.8	19.8	20.4	19.4	24.1	28.1	20.3	18.4	25.0	21.0	26.3	29.2	34.4	34.6
設備上の問題	1.7	3.2	0.0	0.7	2.8	1.0	2.5	0.0	1.4	2.1	1.3	0.0	0.0	0.0
製品価格の下降	9.1	8.7	7.1	6.7	7.4	10.4	8.5	5.1	6.9	11.9	5.3	4.8	7.6	5.6
経費の増大	10.7	9.5	11.2	2.2	5.6	15.6	10.2	7.0	10.4	10.5	11.8	5.4	4.6	6.5
人件費の増加	5.8	5.6	8.2	9.7	12.0	4.2	8.5	6.3	2.8	4.2	5.3	5.4	4.6	5.6
金利の引き上げ	0.8	0.0	0.0	0.7	0.0	1.0	1.7	2.5	2.8	0.0	0.0	0.6	0.8	1.9
そ の 他	2.5	4.8	11.2	3.0	9.3	4.2	7.6	5.1	3.5	2.8	2.0	1.8	3.8	3.7

好転理由



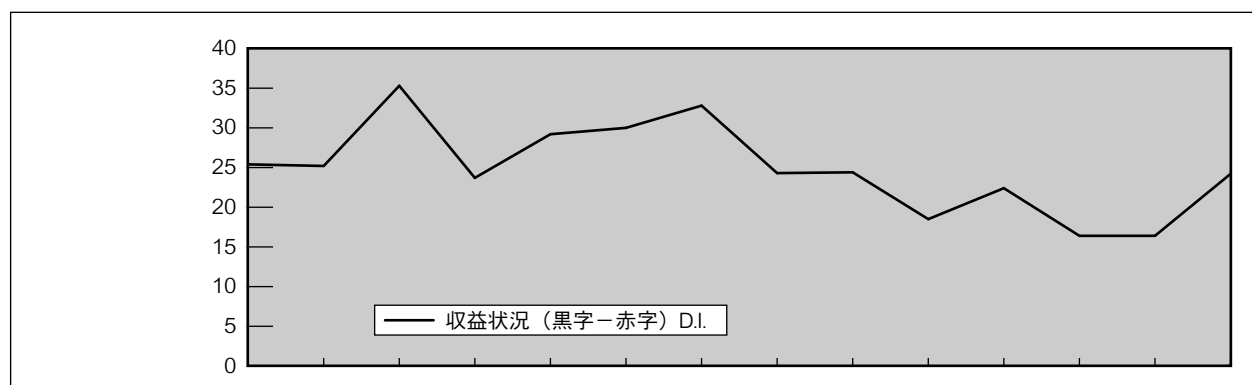
悪化理由



- (1) 1～3月期収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲16.9と前期比11.3ポイント悪化した。先行きについては、20年4～6月期D.I.は改善を予想している。7～9月期も更に改善予想となっているがマイナスポイントである。
- (2) 「収益状況が好転した」理由、1～3月期実績は、①売上高の増加、②製品価格の上昇、③経費削減となり、製品価格の上昇が2番となった。先行きでも、「売上高の増加」が大幅な理由となっており、「製品価格の上昇」が次に高い理由となり、ポイントが増加している。
- (3) 「収益状況が悪化した」理由、1～3月期実績は、①売上高の減少、②原材料高となった。売上高の減少とするポイントが大幅に増加し、原材料高とするポイントも増加している。先行きについても、原材料高を理由とする企業が、更に増加している。4～6月期は34.4%、7～9月期は34.6%と30%を越す理由となった。悪化理由として、原材料高とする企業が増加傾向にある。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	17年			18年				19年				20年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
黒字	44.8	44.1	48.5	44.4	43.8	44.6	48.5	43.5	43.0	38.3	41.9	39.1	34.7	38.1
収支トントン	35.7	37.0	38.3	34.9	41.6	40.8	35.7	37.3	38.4	41.9	38.6	41.3	46.9	48.1
償却後赤字	19.5	18.9	13.2	20.7	14.6	14.6	15.8	19.3	18.6	19.8	19.5	19.7	18.3	13.9
D.I.	25.4	25.2	35.3	23.7	29.2	30.0	32.8	24.3	24.4	18.5	22.4	19.4	16.4	24.2



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、19年1～3月期より低下してきている。20年1～3月期も19.4と前期比3ポイント悪化となった。先行きについても16.4と悪化の見込となっている。

しかし、7～9月期では、24.2と改善見込となっている。黒字とする企業が、40ポイント台から、30ポイント台へと減少してきており、横這いとする企業が増加してきている。